

令和5年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市海と森ふれあい体験館	
指定管理者	団体名	特定非営利活動法人 シェルフオレスト川内
	代表者	理事長 内田 征吾
	所在地	むつ市川内町川内477
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	地域の海・山等の豊かな自然を活用した、地域住民の生涯学習の場及び地域を担っていく子供たちの総合学習の拠点であり、地域の伝統文化の情報発信に寄与することを目的とした施設である。設置目的を踏まえ地域の活性化を図るため、利便性を向上させる運営に取り組む。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	6,075	3,067	▲3,008
うち利用料金額	50	21	▲29
うち指定管理料	6,025	3,012	▲3,013
その他収入	0	34	34
支出合計 (B)	6,075	2,473	▲3,602
うち人件費	100	0	▲100
収支差 (A-B)	0	594	594
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	収入は計画どおり推移している。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、観光客が戻りつつある。 支出では、事業での消耗品等が見込んだよりも少なかったことによる。事業は多く展開しているものの、費用をかけずに行えている。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	指定事業	4,100	4,100	0
	自主事業	2,100	6	▲2,094
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無） アンケートでは、「ピアノを弾くことができ楽しかった」という声があり、現在、利用者が1階ホールのピアノを自由に演奏できるようにしている。また、定期的な調律も行っており、貸館時にも適切に利用できる状態を保っている。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
むつ・小川原地域産業振興プロジェクト 支援助成事業 (カヤック・SUP体験のPV撮影) ※実施はしたが、助成金申請は10月に実施する為、収支は下期に報告いたします	6	—	—

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	C	C
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	A
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	C	C
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

④指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。

(1) ③館内の案内だけでなく、観光客への道路や見どころの案内なども行っている。

(1) ④来館者へのアンケートを日常的に実施し、館内施設や展示の改善に努めている。

(2) ①、(5)①

現状、施設の貸館の方法や利用状況等がわかりにくい状態なので、webサイトを介した手続きの利便性を改善する。

7. 市の所管課総合評価

㊦所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類となった事に伴い、利用が活発になっている。事業を実施する際に、昨年よりも利用者が多いことからそれは実感している。また、告知をする際に学校をターゲットにしている効果も多く出ている。

利用者アンケートなどから、接客マナー等利用者に対して安心感のある対応が出来ている事、潜在的な利用者等として、学校への営業広報活動を行ったことを評価してAとする。

施設の貸館の方法や利用状況等については、利用者が多くなってきた事からより一層の周知及び理解に対してもアプローチの仕方が必要であると現場が実感している事からC評価とした。